

式辞

日ごとに雪解けが進み、春の日差しが感じられる今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、3年ぶりに、このような盛大な卒業式が挙行できますことを、まずもって御礼申し上げます。

さて、本日、茶内小学校を巣立っていく18名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。たくましく立派に成長した皆さんを、本日、無事に卒業させることができるのは、何よりの喜びです。皆さん一人一人の卒業式に臨む姿勢も堂々としていて頼もしく、私は自信をもって卒業証書を渡すことができました。いつまでも大切にしてください。

皆さん、6年前のことを覚えていますか。ランドセルを背負い、おうちの人に手を引かれ、初めて小学校に登校したあの日です。何もかもが初めてのことで、毎日が新鮮だったことでしょうか。ところが、4年生に進級すると同時に、皆さんの学校生活は一変したのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症が日本全国で猛威を振るい、長期間にわたり臨時休校となり、皆さんにとって不安な日々が続きました。6月から学校は再開されましたが、感染防止が優先され、学校行事の縮小や変更、音楽における合唱や理科における実験、家庭科における調理実習の中止、給食における黙食の遵守など、たくさんの制限の中で学校生活を送ることを余儀なくされました。しかし、皆さんは、そんな長く苦しい時期も、自分自身の頑張りや、家族の支え、仲間たちと力を合わせることで見事に乗り越え、心も体も大きく成長して、今ここにいます。

特に、この1年間の活躍は頼もしく、茶内小学校のリーダーとして、常に先頭に立ち、心を一つにして頑張ってくれました。様々な活動を通して、自分を好きになること、互いに助け合うこと、相手の立場に立って考えること、みんなで高め合うことの大切さを後輩たちに示してくれました。

休み時間や縦割り清掃の場面では、後輩たちに優しく接している姿を何度も見ることができました。運動会の「よさこいソーラン」では、一糸乱れぬ演舞を披露し、見ている人たちに感動を与えました。茶内アートコレクション2022では、これまでの学習の成果をオリジナルのパフォーマンスで発表しました。ステージで輝く皆さんの姿は後輩たちの憧れであり、本校にとっての誇りでした。

このように、たくさんの素晴らしい思い出を残してくれた皆さんも、4月からは中学生になります。そこで、卒業に当たり、皆さんへのはなむけとして、1つのことをお伝えしたいと思います。

それは、「行動する人になろう」ということです。多くの人が自分の目標を決めます。そして、その目標を達成するために、何をすればよいかを考えます。しかし、実際にそれを行う人はとても少ないのです。当たり前ですが、実行しなければ何も成し遂げることはできません。どんな小さなことでもよいので、実行する人だけが、大きな仕事を成し遂げることができます。

江戸時代に高杉晋作や伊藤博文など優れた人材を多数出した松下村塾という塾が

ありました。この塾で教えていた吉田松陰が次の言葉を残しています。

「願ふに人読まず。即し読むとも行わず」

人は本を読まないものだ、読んだとしても、その内容を実行しないものだ、という意味です。江戸時代から人はなかなか実行しないものだったのです。

さらに、このことは日本だけのことではありません。世界的なアラブ研究者であるビル・ハリスという人は、講演で「行動する2%になれ」と、話を聞きに来た人たちに訴えます。これは、アメリカでも本を読んで実際に行動する人は2%しかいないということなのです。反対に言えば、残りの98%の人は、本を読んで、書いてあることがよいことだと思っても行動しないということです。

このように、人はなかなか行動に移すことができないものです。その理由はいろいろあるでしょう。でも、このことを知って、「ああ、やっぱり人は行動するということが苦手なんだな。自分がなかなか行動できないのも仕方がないことなんだな」と思ってしまうのは、正に吉田松陰の言う「読むとも行わない人」になっているということです。そうではなくて、「本を読んで実行する人はほんの数%しかいないのか。ならば、自分はその数%の実行する人になろう」と思うことが、実行する人になるということです。

何もしない90%以上の人の仲間になるか、読んで実行する数%の仲間になるか、どちらになるかは皆さん自身が決めることです。よいと思ったことは実行し、皆さんも「行動する2%」になるよう、学級通信のタイトルのように、Re-Startしてみてください。

以上、「行動する人になろう」を心にとどめ、校歌の一節にある「伸び行く明日を担わん我ら」の歌詞のとおり、皆さんの力を存分に発揮し、未来社会の創り手になってください。

保護者の皆様一言申し上げます。お子様が今日、立派に小学校を卒業されますことを、職員を代表しまして心よりお祝い申し上げます。小学校卒業という節目を迎えられ、これまでの御苦勞も大きな喜びに変わっていることと存じます。この6年間、本校の教育活動に格別の御理解と御協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。これからも、お子様が健やかにたくましく成長されますようお祈り申し上げます。

また、御来賓の皆様には御多用の中、御臨席を賜り、衷心よりお礼申し上げます。卒業生に対するこれまでの御厚情と本校教育への御支援に対して、改めて深く感謝を申し上げます。

名残は尽きませんが、卒業生の皆さんの輝ける未来に幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。

令和5年3月17日

浜中町立茶内小学校長 富田直樹